

Interview.

(株)ココロココ
ココロココ伏石所属

橋本 愛莉

Airi Hashimoto

北宇和高校 普通科 卒業
(入社9年目)

北宇和高校を卒業後、ココロココに入社。9年目の橋本愛莉さんにインタビュー。



(株)ココロココ

ココロココ

四国中央市妻鳥町1817-1

0896-29-5778

株式会社ココロココ

医療・福祉

職場見学OK

住宅型有料老人ホーム/通所介護サービス/各種介護サービス

人の役に立てる仕事に就きたい

「人の役に立つ仕事をしたい！」そう思い就職先を探していた橋本さん。そんな時、ココロココの「私たちは一人でも多くの入居者様が住みなれた地域で、にこやかに生活できる施設づくりと、共に働く社員の幸せを実現します」という経営理念に惹かれ、入社を決めた。



入社した社員が、一人前の介護職員になるまで先輩が仕事方法を教える「ビッグブラザー制度」という教育制度があり、独り立ちするまで先輩が付きっきりで指導し、サポートしてくれたので、知識ゼロからのスタートでも安心して働けた。「独り立ちした当初は、上手くいかないことが多く、心が折れてしまうこともよくあった。でも、いつも励ましてくれ、気にかけてくれる先輩たちがいたおかげで今の私がある」と橋本さん。

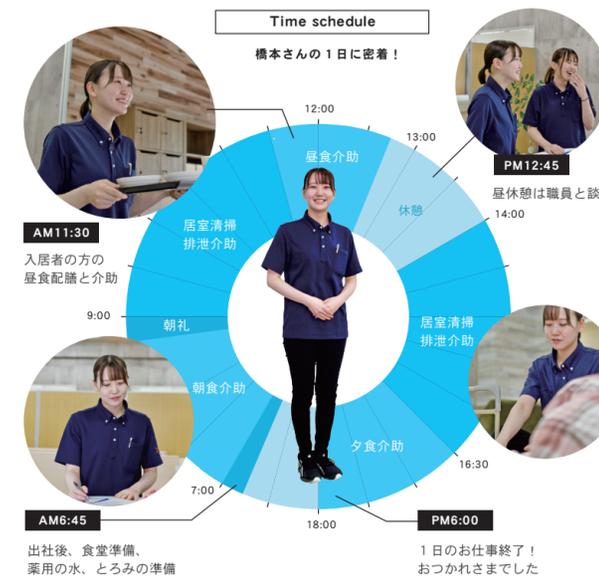
「人の役に立ちたい」という想いが相手の気持ちをあたたかくする

「ありがとう」の言葉に支えられて

入社6年目に、現在所属しているココロココ伏石（高松市）へ異動。介護福祉士として入居者さん約50人の居室掃除や、食事、入浴、排泄の介助を職員と分担して行っている。入居者さんから笑顔で「ありがとう」と声をかけられたり、「橋本さんが介助に来てくれて嬉しい」という言葉をかけてもらった時に「やってよかった」とやりがいを感じる。また、はじめは上手くコミュニケーションが取れなかった入居者さんの伝えたいことが分かるようになったり、笑顔を見ることが出来たりすると「入居者さんとの間にあった壁がなくなったように感じて嬉しい」と話す。

いるだけで安心できる存在になりたい

介護福祉士として、日々入居者さんたちのケアをしながら、新しく入社した職員への新人教育も任されている。入社当時は少し人見知りだった。しかし、入居者さんたちと話をしながら仕事をしている間に自然と人見知りを克服。「コミュニケーションに不安を持っている人も、仕事を通して不安が解消されるから大丈夫！」とエールを送る。「入居者さんや他の職員から『橋本さんがいると安心する』と思ってもらえる、いるだけで安心感がある存在になりたい」と話す橋本さん。職場の雰囲気や周囲への声掛けや、臨機応変に対応できるように観察力を磨いている。



いっしょに働きたいのはこんな人

「ココロココで仕事がしたい」人

私たちは「ココロココで仕事がしたい」と思ってくれる人と一緒に働きたいです。介護の仕事が出来る会社が沢山ある中で「なぜココロココで仕事がしたいのか」を深堀りし、ココロココの社風の中で、自分の力を最大限に発揮できる人材を求めています。働きながら成長できる環境は整えています。仕事の技術や能力は、仕事をしながら身に付けられるので大丈夫！安心して下さいね。



常務取締役
久保 慶高